

令和6年第8回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和6年11月7日（木曜日）		開会	9:26		会議場所		別海町酪農工場、別海町酪農研修牧場及び別海町議会委員会室4	
				閉会	14:42					
委員の出欠		4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席	7 番	横田 保江	出席
		11 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長		
		佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	皆川 学	出席	掘込 美穂	出席	
		水産みどり課技術主幹		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		
		古里 達也	欠席	上杉 大洋	出席	金澤 亮太	欠席	山下 真弘	欠席	
		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査		
		西郷 博之	出席	岩光 信幸	欠席	池田 友和	欠席	松本 芳樹	出席	
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		建設水道部次長		建築住宅課長		
		外石 昭博	欠席	新堀 光行	欠席	田畑 直樹	欠席	廣島 静治	欠席	
		事業課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課主幹		
		佐竹 和仁	欠席	袴田 充輝	欠席	入田 浩明	欠席	篠田 敬介	欠席	
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		上下水道課主幹		
		前道 陽司	欠席	板垣 正博	欠席	西田 和弘	欠席	植松 拓也	欠席	
		管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査				
		大滝 毅	欠席	伊井 崇史	欠席	志渡 正勝	欠席			
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主幹				
		川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	成瀬 広子	欠席			
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		局長	干場 富夫	主幹		木幡 友哉		合計	2名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和6年第8回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	9:26 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日 【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1) 酪農工場の現状について（現地調査）
産業振興部長 佐々木	・別紙資料に基づき各施設において口頭により概要説明
委員長 11番 今西	(2) 酪農研修牧場について（現地調査）
産業振興部長 佐々木	・別紙資料に基づき各施設において口頭により概要説明
	随時質疑応答
	11:45終了
委員長 11番 今西	13:30再開 別用務のため議長及び局長退席
	委員長挨拶
産業振興部長 佐々木	挨拶
	・現地調査の件で聞きたいことがあれば質問を受ける。
委員長 11番 今西	・酪農工場について質疑あるか。
委員 5番 貞宗	・施設規模の拡大の予定はあるか。
農政課長 皆川	・現状は拡大の予定はない。将来的に規模拡大が必要と考えられる場合はその時に検討したい。
委員 5番 貞宗	・施設も古くなってきていると思うが、建替えや部分修繕の予定はあるか。
農政課長 皆川	・現地でも話が出たが、機器の更新については、今後9年間程度の更新計画を持って進めていきたいと考えている。
	躯体については、一部雨漏りはしているが、大規模修繕は今のところ考えていない。
委員長 11番 今西	・今年も2億円近い事業費で機器更新を行うこととなっている。
	酪農研修牧場の生乳生産量が減り、同牧場からの生乳購入量が減ったことで、ホクレンを経由して、これまでの総量に不足する量を3農家から購入しており、これは機器を動かすことができる量となる1,800トンから1,900トンの原料確保のためと確認したが、施設や機器を更新していく中で、取り扱う量の見直しなどは議論の対象になっていかないのか。
農政課長 皆川	・規模拡大等についてはまだ議論が進んでいないのが現状。計画的に機器を更新して現状を維持していくことが、現段階での計画。
	福祉牛乳の確保や別海町ブランドのPRのためにも、現状の規模をのま継続していくことを考えている。
委員 12番 松原	・別海町の酪農を発信するためには、この施設は必要である。町として、将来的にこの施設はこうしたいという構想を立てるべきと考えるが、考えはあるか。
農政課長 皆川	・本工場を一つの核として別海町の乳製品をPRしていくことは今後も続ける必要があると考えている。
委員長 11番 今西	・本施設周辺一帯を観光ゾーンとして議論していく考え方がある。酪農工場も含んで議論されるか。
産業振興部長 佐々木	・総合政策課が中心となって進めていくが、酪農工場も含まれている。
委員 12番 松原	・乳製品の購入場所がないので、将来的にあの周辺が観光スポットになるのであれば、物産店のような、乳製品専門販売店として整備して欲しい。
産業振興部長 佐々木	・特産品が購入できる場所を聞かれて回答に困った経験もあるので、お土産などを購入するならここだと誰もが分かる場所があるのは個人的にはいいと思う。

令和6年第8回産業建設常任委員会 要点記録

		そういった施設をあの一帯に作るとは明確に答えられないが、ふるさと交流館を含めたエリアにどういった付加機能を持たせるかについては検討することになっているため、そのことも併せて検討していきたい。
委員長	11番 今西	・酪農研修牧場について質疑あるか。
委員	5番 貞宗	・今までは繋ぎ牛舎とフリーストール牛舎の両方の研修ができる貴重な研修牧場だったが、フリーストール牛舎が廃止され研修の幅が狭まった。今後も研修生を確保するために別海町の魅力を十分にPRしていく必要があると思う。
		また、施設も古くなっているが、今後の考えは。
農政課長	皆川	・研修生の募集については、これまでもフェアへの参加や、ホームページ、SNSを使った募集活動は効果が出ているので続けていきたいと思っている。
		また、研修については、フリーストール牛舎はなくなったが、フリーストールを持つ農家への派遣研修などではできているので、研修目標などは今後詰めていく必要はあるが、研修方法はいろいろある。
		最後に施設についてだが、古くなってはいるが、すぐに大規模改修等を行う予定はない。細かい補修は少しずつ計画的にやっていきたい。
委員	5番 貞宗	・指導員も現在1名体制で大変だと思う。講師を頼んで座学もやっているが、研修内容の充実を図らなければ研修生も集まらないと思うがどう考えているか。
農政課長	皆川	・難しい問題ではあるが、研修牧場だけではなく農協とも協力し、研修内容については関係各機関で手を取りあって進めていかなければならないと考えている。指導員については、農協にも相談しているが、見つからない状況ではあるが、そういった課題があるということも認識しながら適宜進めていきたい。
委員	4番 伊勢	・現在の設備規模で運営を維持していける用途はあるか。
産業振興部長	佐々木	・将来的に繋ぎ牛舎の第1牧場だけでいいのかということかと思うが、中小規模で新規就農しても数億円かかることから、新規就農直後からより設備投資の必要なフリーストール牛舎で営農することはほとんどなく、繋ぎ牛舎から始めるといった新規就農の一般的な規模を考えたときには、現在の形態でもいいと思っている。
		また、研修生の確保に関しては、5組・10組の確保は酪農情勢が厳しい昨今難しいが、研修の密度と研修牧場の運営維持を考えた場合、3組程度がいいと思う。
		施設設備の補改修も進めながら継続していく考え。
委員	4番 伊勢	・放牧酪農について、現地調査の中では乳質変化の問題が出るかもしれないので、すぐに開始するのは難しいとの回答があったが、放牧酪農を希望する方が多いと聞いているので、放牧に対応できる受入体制を作る必要があるのではないか。
産業振興部長	佐々木	・研修牧場では乳業公社に売却している牛乳の味が変わる可能性があることから放牧させていないだけで、繋ぎ牛舎であっても放牧が主となる。
		放牧酪農希望者を受け入れないということではなく、場長も話していたが、放牧研修も今後取り入れていきたいとのことである。
委員長	11番 今西	・町と農協で研修牧場に対する考え方をしっかりすり合わせる必要があると考える。研修生は卒業後農協組合員となることを踏まえると、農協が主体となって取り組む必要もあるのではないか。
		また、研修牧場は必要であるといった共通認識を持って、今抱える課題をどう乗り越えるかを当委員会としても議論していかなければならない。
産業振興部長	佐々木	・主体がどこかという話であれば、町の施設でもあることから、現状は町の意見が大きい。ただ、組織として運営委員会というものもある。そこには農協参事も入っているため、その場において、将来組合員となる研修生をどのように育てていきたいかといった議論もして進めていきたいと思う。
委員	12番 松原	・酪農工場製品の品質に気を遣って、別海町の将来の酪農家を指導するという感覚

令和6年第8回産業建設常任委員会 要点記録

産業振興部長	佐々木	には受け取れなかった。
		・先ほども話したが、放牧酪農がだめだということではない。酪農工場の原料のほとんどが研修牧場の放牧していない牛の牛乳なので、餌が変わると味が変わる可能性があることから、その影響を確認してから放牧を考えていくということ。
委員	4番 伊勢	影響がないことが確認できれば実施してもいいと思う。
		・第2牧場については解体して売却できる廃材は売却するといったが、解体せずに有効活用する方法は考えられないのか。
委員	5番 貞宗	・第2牧場については民間に任せることも考えられる。
		また、これからも酪農情勢は厳しいので、研修生にはしっかり新規就農の厳しさを伝えて、運営委員会では施設の存続をしっかり協議してしてほしい。
産業振興部長	佐々木	・研修牧場は町の施設なので、運営委員会や取締役会などで十分協議して進めていきたい。
委員長	11番 今西	(3) ふるさと交流館について
商工観光課主査	松本	観光に関するアンケート等について資料により内容を説明。
		・回答は紙媒体113件、インターネット563件、中高生438件の合計1,114件。
		ふるさと交流館周辺を一体的に利活用していく場合の取り組むべきテーマは、一般回答者においては食が1位、観光が2位で、中高生においては観光が1位、食が2位となった。
		新源泉井掘削工事について、6月の常任委員会時に実施可能業者が1社と説明したが、リスト検索方法を誤っており、他にも実施可能業者があることが分かった。今後は同じミスが起きないように努め、関係部署ともより一層協議しながら進めていく。
委員長	11番 今西	質疑
委員	4番 伊勢	・掘削工事が実施可能な登録業者はほかにもあったとのことだが、実際何社あったのか。
商工観光課主査	松本	・10社前後あった。
委員	4番 伊勢	・そうすると、その10社近い業者から再度見積書を取るということか。
商工観光課長	掘込	・予算を要求するための見積書を1社からしか徴していないということであり、今後簡易公募型指名競争入札の手順に添って入札が行われることとなるが、入札に当たっては予算用見積書を1社からしか取っていないことは影響しない。
		・では、その10社近い業者から予算用の見積書を徴するのはいつになるか。
委員	4番 伊勢	・予算要求は終わっており、議決もいただいているので徴しない。
商工観光課長	掘込	・1点確認だが、設計は町が行うので、1社だろうが10社だろうが基準の額は変わらないのではないかと思っているが、それで間違いないか。
委員	5番 貞宗	・予算要求の段階では想定される最大の金額で積算・要求を行っており、入札に関しては、我々で設計した内容を基に、各社実施可能額を札入れすることとなる。
商工観光課長	掘込	・予算要求や入札の手順等の事務手続きの方法については委員会協議会の中で事務局から説明を受けることとするので、アンケートに関しての質問がなければ次に進みたい。
		・紙媒体で5,800枚配布し、回答が113件というのは少ないと感じるが、インターネットや中高生の回答が多く、若い世代の声が多く集まったということかと思う。この将来ある若い世代の意見は大事にして考えていくべきと思うがどうか。
委員	5番 貞宗	・今回自由意見は資料に載せていないが、町の観光や将来について、とても真摯に考えた回答が多かった。
商工観光課長	掘込	そういった中高生の思いをしっかり受け止めたものにしていく必要がある。
委員	5番 貞宗	・地域おこし協力隊といった、全国から集まってきた人の意見なども参考になるかと思うので、そういった方の意見も取り入れてほしい。
商工観光課長	掘込	・アンケートの回答にも、「ぜひ地域おこし協力隊の声も聞いてほしい。」との意見があっ

令和6年第8回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	11番	今西	たことから、総合政策課とも情報共有して、隊員の知恵も借りていきたいと思っている。 ・アンケート結果については、今日の説明で部分的には理解できるが、自由意見も含めた総体的なまとめを行う時間をまた設けたい。 議事2 その他 (1) 森林資源のエネルギー有効利用に関する連携協定に向けた取組について ・ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、北海道電力と別海町森林組合、そして町の3者で森林資源のエネルギー有効利用に関する連携協定の調印式を本年12月4日に行うこととなったので報告する。 協定締結後は公共施設における木質バイオマスボイラーの導入に向けた取組を進めていく。 (2) 町内在住の外国人に対するアンケート調査について ・現在、町内の外国籍の方に対するアンケート調査を予定している。 内容は、在留理由、就業状況、日常生活の困りごと、学習意向、これらに加え過去に町が実施した町民向けアンケートの項目と同様の設問を設定している。 対象は、18歳以上の外国籍の方全てで約500件の全数調査を予定している。 10か国語で準備、信頼水準95%、80件の改修を目指し、1月中旬からの実施を予定。
委員長	11番	今西	
産業振興部次長		小野	
商工観光課主幹		上杉	
委員長	11番	今西	閉会挨拶 14:42 閉会
委員長	11番	今西	